

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	212	施策	防災力・減災力の向上
管理事業	自主防災推進事業	所管部局	総務部

1	所管 室課	危機管理室	事業名	自主防災推進事業		
事業概要						
防災用資機材給付、防災ブックの作成・改訂、防災リーダー育成、自主防災組織支援						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【コミュニティ放送による防災情報収集の啓発による拡充】		決算額 (千円)	20,269	6,083	6,644	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
【自主防災組織活動支援補助金】 令和5年度から新たに「災害時において必要となる備蓄食料の備蓄」を補助対象事業に追加したほか、自主防災組織間情報交換会を年2回開催し、補助金の活用事例や自主防災組織の結成・活動等について意見交換を行う機会を確保した。また自主防災組織活動発表会を実施し、他地域の活動を知る機会を設けた。 補助金交付団体数 令和6年度…27団体 令和5年度…22団体 令和4年度20団体 【吹田市自主防災用資機材給付事業】 令和6年度…3団体 令和5年度…2団体 令和4年度…1団体 【防災リーダー育成】 地域防災リーダー登録数：442名（R7.3.31時点） 地域防災リーダー新規登録者 令和6年度…44名 令和5年度…30名 令和4年度…33名 フォローアップ研修実施回数 令和6年度…3回 令和5年度…2回 令和4年度…2回 【リアルハザードビューア】 防災啓発におけるDX化の一環として、令和6年度からリアルハザードビューアを導入し、洪水による災害リスクを具体的に可視化することにより、市民の防災意識向上につながるよう防災訓練や講座等で活用した。		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	82.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ■ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		自主防災組織活動支援補助金の活用については令和6年度終了時点で自主防災組織32団体の内、4団体が制度創設以降一度も交付申請していない。補助金の活用をきっかけとして自主防災活動が活性化されるよう引き続き働きかけを行う必要がある。 また、自主防災組織未結成の地域が2地域あり、引き続き結成に向けた支援を行う必要がある。				継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名